

研究情報公開: 既存試料・情報のみを用いた研究で研究情報公開が必要な場合に記入してください。

病院長の研究実施許可が通知された後、この項に記載された情報が当センターのホームページに掲載されます。

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	HBs 抗原陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者におけるリツキシマブ併用化学療法後の B 型肝炎ウイルス再活性化関連肝障害に関する多施設共同後方視的共同観察研究
	研究目的	この研究は、2004 年から 2014 年の間に当院を含む参加施設でびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫と診断され、リツキシマブ併用 CHOP 療法またはリツキシマブ併用 THP-COP 療法を受けられた患者さんのうち、B 型肝炎ウイルス抗原 (H B s 抗原) が陽性の患者さんと陰性の患者さんを対象としています。調査内容は、リンパ腫に関する症状、検査結果、治療の内容、治療の効果、肝機能障害、B 型肝炎ウイルスの状況や治療の状況等です。検査はいずれも日常診療で行われている項目であり、この調査のための新たな検査項目はありません。あなたのプライバシーの保護について細心の注意が払われます。 ご自分のデータをこの研究に使用してほしくないとお考えの患者さんもしくは代理人の方 (患者さんご本人が連絡できない場合) は、担当医までご連絡いただければ、本研究へのデータ利用を停止いたします。
	研究期間	西暦 2017 年 2 月 2 日 ~ 西暦 2018 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	名古屋市立大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学 楠本茂
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	腫瘍内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者 海外へ試料・情報を提供する場合、国名も記載して下さい。	神奈川県立がんセンター 腫瘍内科 医長 高崎啓孝 名古屋市立大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学 楠本茂 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 丸山大 国立病院機構北海道がんセンター 血液内科 鈴木左知子 東北大学病院 血液免疫科 張替秀郎 群馬大学医部附属病院 血液内科 塚本憲史 群馬県立がんセンター 血液内科 五十嵐忠彦 千葉県立がんセンター 腫瘍血液内科 辻村秀樹 国立がん研究センター東病院 塚崎邦弘

	<p> 虎の門病院 血液内科 伊豆津宏二 横浜立大学市民総合医療センター 血液内科 藤澤信 埼玉県立がんセンター 久保田靖子 横浜市立大学附属病院 血液・免疫・感染症内科 松本憲二 信州大学医学部附属病院 血液内科 石田文宏 東海中央病院 血液内科 小椋美知則 名古屋第二赤十字病院 血液・腫瘍内科 内田俊樹 愛知県がんセンター中央病院 血液・細胞療法科 山本一仁 他、 計36施設 </p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------